

長井雲坪 ながい ぐんぺい 南宗畫家。天保四年二月、百越後國生れ、(明治二十一年八月) 二十九日歿(二八三一九)。諱元、字仲齋、通稱元次郎。別號吳江、桂山、桂山居士、沿垂逸民、玉蘭堂、瑞岩、藏月山窟、藏月山館、藏月樓、蘭垂山人、瓢々子、白雲坪、白東雲坪等。弘化四年長崎の遊學、鐵翁祖門、木下逸雲の傳ふ。慶應二年支那へ渡り翌年歸國。

明治十年代長野の古隱山、ゆき善光寺附近の隱樓。
 又獻、高津才次郎著『畫人雲坪』(昭和九年四月十六日長野・大正堂書店)等。